

奈良市

奈良市が目指す子育て環境

「すべての子どもが今を幸せに生き、夢と希望をもって成長することができるまち なら」を基本理念とし、孤立する家庭など新たな課題に対応しながら、地域全体で子育て家庭を見守るまちを目指しています。

1 基本データ <県記載>

- ・順位は県内市町村の降順
- ・カッコ書きは県全体の数値

①人口増減率（H11年4月～H30年12月・約20年間）					
増減率	順位	うち自然増減		うち社会増減	
		増減率	順位	増減率	順位
▲4.3% (▲6.2%)	10位	▲1.2% (▲2.1%)	9位	▲3.1% (▲4.1%)	11位
②合計特殊出生率			③有配偶出生率		
H20～24年（年率）	順位	対H15～19年（年率）増減	（15～49歳女性有配偶者1,000人あたりの出生数）		
1.22 (1.29)	27位	+0.07 (+0.06)	H27年	順位	
			72.9 (74.4)	17位	
④出生数（人）	⑤年少人口割合（15歳未満）				
H30年	H30年10月	順位	対25年10月増減		
2,324 (8,947)	11.5% (12.0%)	13位	▲0.8%ポイント (▲0.7%ポイント)		
⑥子育て世代割合（25～44歳）					
H30年10月	順位	対25年10月増減			
21.0% (20.7%)	13位	▲3.7%ポイント (▲3.8%ポイント)			

2 子育て家庭の現状と支援に関する課題

- ① 子育て家庭を取り巻く環境
 - ・核家族率が奈良県は全国1位（63.9%）（奈良市62.5%）H27国勢調査
 - ・SNSなどからの情報過多による不安
 - ・日中、緊急時であっても子を見てもらえる親族・知人がいないと答えた家庭が10.9%（0～2歳）（奈良市子育てに関するニーズ調査H30）
- ② 児童虐待対応相談件数の増加
 - ・相談件数は増加傾向にあり、10年前に比べて約4倍となっている。
 - ・子の前での夫婦間トラブルや子への暴言等の心理的虐待が約半数を占める。
 - ・年齢別では0歳～2歳までが最も多く、就学前までで約半数を占める。
 - ・虐待者は実母が6割となっている。

➡子育て家庭が孤立しない支援や気軽に相談できる体制の充実が求められる。

3 子育て家庭への支援に関する基本的な考え方（目指していること）

- ① 地域に根差した支援を行う（地域社会全体で支える）
- ② 児童虐待が重症化しない予防を中心とした支援を行う
- ③ 妊娠期からの途切れることのない支援を一体的に行う
- ④ 関係機関連携において支援を行う
- ⑤ 児童相談所設置を目指し、一般的な子育て相談から専門的な相談までの幅広い支援ができる体制を整備する
- ⑥ 子どもだけではなく保護者や家庭の課題に対し支援を行う

4 子育て家庭への支援に関する特徴的な取組

- ① 妊娠中からの切れ目ない支援のため、妊娠届出時のアンケートや産科医療機関等との連携による妊娠期からの支援。
- ② 育児不安等がある家庭を対象にホームヘルパー派遣による家事・育児支援「エンゼルサポート事業」を実施（H30～）。同時に非課税世帯等を対象にファミリーサポートセンター事業の一部利用助成を開始。
- ③ 児童相談所、一時保護所、子ども発達センター、地域子育て支援センター、子ども家庭総合支援拠点等の複合施設（仮称）奈良市子どもセンターの設置を目指す。

5 多様な主体による子育て支援の取組

- ① 子育ての孤立感、負担感の解消を図り、すべての子育て家庭を地域で支えるため、地域子育て支援拠点事業を実施（民間事業者に委託して運営）。また地域で孤立しがちな子育て親子が参加できる場の確保のため地域の子育てサークル運営団体へは補助金を交付。
- ② 新生児訪問等で上記事業や相談先を紹介
- ③ 児童相談所を設置を目指し、児相を中心とした関係機関とのネットワークづくり。

詳しくは 奈良市の子育ておうえんサイト子育て@なら
<http://www.naracity-kosodate.jp/>